

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495400168	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花織 のぼりと		
所在地	(〒214-0014) 川崎市多摩区登戸658-2		
サービス種別 定員等	☒ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	25名
		通い定員	15名
		宿泊定員	9名
	☐ 認知症対応型共同生活介護	定員計	名
		ユニット数	ユニット
自己評価作成日	平成26年11月9日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

花織 のぼりととは、小田急線・JR南武線の3駅が利用可能で、アクセス良好な場所にされており、利用者様、ご家族様のアクセスが良好です。
平成23年4月1日開設。認知症対応型共同生活介護と、小規模多機能型居宅介護の複合施設です。
共同生活でありながらも、お一人お一人の“個”を尊重し、自由に生活していただくことをモットーに、その人らしく、本人の自由を尊重した生活お過ごしいただけるよう、職員一同励んでいます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年12月3日	評価機関 評価決定日	平成27年5月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】
この事業所は、JR南武線登戸駅と中野島駅の間にあり、徒歩15分ほどの住宅地に立地している。小田急線の向ヶ丘遊園からも等距離で、南武線沿いに位置しており、グループホームを併設している。1階には通いの利用者のリビングダイニングと泊まり用の和室が2部屋あり、2階は泊まり用の洋室7部屋が用意されている。バリアフリーで通路は広く、車椅子がゆったりと行き来でき、グループホームと共用の車椅子対応のエレベーターが設置されている。フロアは茶色を基調とし、落ち着きがあり、玄関には生花やクリスマスツリーが飾られて、季節感を演出している。本年7月に小規模多機能型居宅介護サービスなどの特徴を表現すべく「花織のぼりと」に名称変更した。

【利用者主体の支援】
利用者は身体状況に合わせて、できる事を無理なく職員と一緒に実施している。通いの時には当日の過ごし方について希望を聞いて出来る限り対応している。利用者は下膳、食器洗い、洗濯物干しやたたみ、ゴミ捨てなど自主的に行っている。行事の時の食事作りには利用者も参画している。

【職員の教育】
事業所や法人の研修には、シフト調整をして多くの職員が参加できるようにしている。資格取得を支援する法人の制度があり、職員は活用している。管理者は、契約更新時に個人面談をして職員の要望や意見を把握し業務改善に努めている。

【地域との連携】
町内会に加入し、町内会の役員になっており、地域の夏祭りや神社の祭りに参加している。地域の方から梨や梅など頂いている。傾聴ボランティア、三味線やハーモニカ演奏、独唱の方などの来訪があり、利用者は自由に楽しんでいる。2ヶ月毎の事業所の健康祭りには地域の方が多数参加している。来場者は血管年齢測定や骨密度測定などをして、測定が終わるとバーベキューやほうとう、てんぷらなどの食事を満喫している。運営推進会議や健康祭りの際には小規模多機能型居宅介護や認知症などについての説明をし、積極的に情報発信している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	花織 のぼりと
ユニット名	小規模

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に努めている	住み慣れた地域で在宅が長く継続できるようご家族様、ご本人様の生活を支援し、施設、自宅と笑顔がでる生活づくりの援助を目指しています。	本年7月に事業所の名称を「花物語のぼりと」から「花織のぼりと」に変更した。それに伴い、新しく「楽しく明るく、自宅での生活が続けられるようお手伝いします。過去の生活の延長線上に今の生活があります。今までとこれからを大切にします」という理念を職員と一緒に管理者が作成した。玄関とフロアに掲示し、毎朝の申し送り時に確認し、唱和して職員間の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設のイベントの時や健康祭りの時など近隣住民の方に声をかけ参加していただいております。ご利用者様送迎時など近隣の方とお話しさせていただいたり地域のイベントの情報など教えていただいております。	台和町内会に加入し、管理者は町内会の役員になっており、地域の夏祭りや神社の祭りに参加して地域との連携を図っている。地域の方から梨や梅を頂くこともある。2ヶ月月ごとに健康祭りを実施しており、本年11月には、法人の協力で中野島会館で、薬局やマッサージの業者と合同で、血管年齢測定や骨密度測定などの健康チェック、介護ロボットの展示などを行い、多くの地域の方が参加している。その後事業所に戻り、バーベキューやほうとう、てんぷらなどの食事を利用者や家族、地域の方と楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域連絡会の時などや健康祭りの際に小規模の説明や認知症についてなど説明しております。また地域の方の対象のイベントを企画し参加していただいております。		

4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域連絡会にて出た意見を反映させ、レクリエーションの充実やイベントの開催の意見があったため実施しております。	運営推進会議は奇数月に、併設するグループホームと合同で健康祭りの後に実施している。参加メンバーは多摩区高齢者支援課職員、地域包括支援センター職員、オーナー、利用者、家族、管理者、職員で、活動状況の報告や要望の聞き取りなどを行っている。外部評価の報告もしている。「職員が忙しそうだが、食事やレクリエーションがきちんとできているのか」との質問があり、食事の準備の手間を省くために、宅配弁当に変更し、派遣社員の導入を図っている。	さらに地域との連携を図り、事業所の活動状況などを積極的に発信するためにも、運営推進会議に自治会関係者や民生委員など地域の方の参加を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域連絡会の際に、施設の情報や現状の登録人数などお伝えするとともに困難事例などを相談させていただいています。	多摩区高齢者支援課が窓口で、外部評価結果の提出などしている。地域包括支援センターとは困難事例の相談や入居情報などで連携している。多摩区小規模事業者連絡会に加入して、行政や他の事業所と情報交換している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、事例検討を含めて、勉強会を開いています。	身体拘束をしないことを、重要事項説明書に明記している。「身体拘束ゼロの手引き」に基づき、年1回研修を実施している。玄関やフロアの鍵は、すぐ事業所の前が南武線の踏切があり、安全のために家族の了解を得て施錠している。外出したい利用者がいる場合には、職員が付き添って対応している。隣の空手道場やオーナー、交番とは連携している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、事例検討を含め、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合っています。また声掛けが適切ではない職員に対しては個人面談にて注意喚起しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は成年後見制度の方はいらっしゃいませんが認知症ケアを行う上で、必要な知識として、会議の中で研修としてひらいたりし周知しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	小規模は登録制の為1日の通いの定員が決まっている事や通いの説明。泊まりや訪問など柔軟に対応できる事や医療的な対応が必要な場合の対応の説明をおこない互いに確認しあっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	連絡帳のご意見や送迎時にご家族様と話した要望などを確認しおこなっております。現在では利用日などの話しが多い為ケアマネジャーと施設長にて調整、対応をおこなっております。	利用者の送迎時やケアマネジャーの訪問時に家族の意見や要望を聞いている。連絡帳も活用している。「迎えの時間が遅い」との意見があり、時間を変更した。利用日についての要望も多く、ケアマネジャーと管理者で調整している。電話や手紙で家族の意見や要望を把握することもある。利用者については、日常の支援の中で把握している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議での場や職員面談の際に聞き取りをおこなっております。現在では調理の場面で負担が多かった為対応を検討し変更しています。	グループホームを含めた毎月の全体会議や小規模多機能型居宅介護事業所のみのフロア会議、朝の申し送り時、日常の支援の中で職員の意見や要望を把握している。目安箱も設置しているが意見はない。契約更新時には管理者は個別面談を実施して、職員の要望を吸い上げている。「食事の準備に忙しく、利用者の支援の時間がない」などの意見があり、宅配弁当に変更したが、味の問題もあり、さらに検討をしている。人員不足との意見に対しては、派遣社員の導入を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減について、又は、契約社員や社会保険の加入について、希望等を聞き入れ、意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらうよう、伝えています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内の研修や会社全体の研修など対象者や希望職員に参加していただいております。資格取得を希望する職員に対しては会社の制度を利用し資格を取得していただいております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	小規模連絡会に参加し施設間の空き情報の確認をし自施設がお受けできない場合は他事業所を紹介などしております。他にも施設の見学や研修など参加させていただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時家族や本人に要望や不安ごとを聞き、随時、傾聴を行ってケアに反映させています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始時からご本人様やご家族に状態や不安な事の聞きとりを行っておりその都度要望にに対してできる事出来ないことを説明し対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者と家族の物理的精神的環境を考慮し、通いの回数や訪問、泊まりのサービスの提案をさせていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の身体状況に合わせ、できる事を無理なく職員と一緒にこなっております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様とご家族様の状況を踏まえ利用方法を随時提案し話し合いを行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚の方の面会や電話のとりつぎなど面会時応接室の提供などご本人様とゆっくりお話しをしていただけるよう支援しています。	利用者が連泊中に、知人・友人が訪ねて来ることがある。その際には、応接室でお茶やお菓子の接待をしている。手紙のあて名書きや投函、電話をかける手伝いなどもしている。職員は利用者の家庭での活動を維持すべく、日常的に家庭で実施している洗濯物を干したり、たたんだり、食事の後片付けやゴミ捨てなども、できるだけ一緒に行うように働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少数のグループにてレクを行っております。中には一人で過ごしたい方もいる為泊まりスペースにて休まれたりして過ごされています。ご利用者様の関係を考慮し食席などを検討し対応しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了したご利用者様のご家族様にサービスが終了後1ヶ月以内に連絡をし相談などにのる事があります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様や本人様と話した際に希望や意向を聞き職員と情報を共有しています。ご本人様への聞き取りが難しい場合はご家族様に昔の生活歴や趣味などを聞いております。	送迎時や訪問時、入浴時などの日常の支援の中で利用者の意向や思いを把握している。把握が困難な方には、態度や表情から読みとり、家族から話を聞いている。把握した内容はノートに記入して、職員同士で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前の担当ケアマネジャー、及び、家族や本人から情報を得、今までやってきたこと（家事）が継続できるよう、支援を行っています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の自宅で様子などを送迎時に確認し変化が見られた際は送迎時や連絡帳にて教えていただき看護師・ケアマネジャー職員・家族で話し合いの場を設けています。	ケアマネジャーや管理者が、自宅を訪問してアセスメントを実施し、利用者・家族の要望を把握して暫定介護計画書を作成している。その後カンファレンスなどで情報を共有し、サービス担当者会議で、ケアマネジャー、管理者、家族で確認して、正式な介護計画書を作成している。基本的には3カ月ごとに見直しをして、状況の変化がある場合にはその都度見直している。医師や看護師の意見も把握して、介護計画書に反映させている。作成した介護計画書は、ケアマネジャーが訪問時に利用者、家族に説明して同意を得ている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に書く際などはケアを行ったあとのご利用者様の様子がわかるよう細かく書いています。また職員間のノートに書き情報を共有し介護計画の見直しの際などに活用しています。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設で対応できる事に関してはご家族様とお話しをさせていただき対応しております。施設外の事に関しても紹介や提案などさせていただいております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会から情報を得ています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはかかりつけ医の方に診察していただいております。場合によっては他病院への紹介状など書いていただき対応しています。	かかりつけ医については家族が付き添って受診している。家族のいない方には職員が送迎することもある。医療情報は受診後、家族から報告を受けて記録し、職員間で共有している。連泊の利用者には事業所が薬の管理をしている。毎週看護師の来訪があり健康管理をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りやケアの中で、変化があった際など、個人記録に記入し、情報の共有を行い、受診や看護につなげています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によりサービス継続が困難な方がいましたが家族や病院の相談員と連携をとり本人の状況に適した環境への移行になるよう支援いたしました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の変化した際などご家族様と話しあい今後の方向性などを決定しております。施設での出来る範囲の事ご家族様の負担などを説明し納得していただいたうえで方向を決定しております。	契約時に「重度化の対応に関する指針」を説明し同意を得ている。その時の状況に応じて利用者、家族、医師などと話し合っている。昨年看取りを実施した際は、家族が毎日泊まり、往診医も毎日対応するなど相互の協力体制に基づいて実施できた。ターミナルケアの研修を年1回実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本を使い職員に周知しています。訓練まではできていないが不安がある職員に個別で看護師より方法を教えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの確認や避難する際の避難場所などを確認しております。	年2回避難訓練を実施している。今年は10月に実施し、さらに12月に予定しており、地域の方の参加を要請するためにチラシを配布する計画である。消防署の立ち合いは年に1回で、夜間を想定した訓練も実施している。オーナーや隣の空手道場の方、近隣の方との見守りや連絡などの協力体制は出来ている。事業所で行った消火器の使い方訓練に、地域の方の参加があった。地域住民の避難訓練には事業所としての参加はない。防犯パトロールに管理者が参加している。飲料水や食料、日用品などの備蓄が3日分用意されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様により声掛けの方法などを変え自尊心を傷つけないよう工夫しております。	言葉づかいや同性介助には特に気をつけている。マナーや接遇研修を法人、事業所で実施している。採用面接時には管理者が言葉づかいについて教育している。法人の新人研修に現任の職員も参加し、初心に帰って勉強している。トイレ誘導はさりげなく行っている。個人情報の書かれた書類は鍵のかかるキャビネットに保管している。個人情報守秘義務の誓約者を契約時に職員と取り交わしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様がどうしたいかなど聞き取り ご家族様にお伝えしご家族様の協力の下本人に決定していただき在宅や泊りサービスの提案などを行っております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設に來た際に当日どのような事が行いたい希望を聞きご本人様のペースに合わせ過ごしていただいております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自宅のお迎え時に整容の支援やその日の服装などを一緒に選び着ていただいたりしております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は宅配のサービスを利用しているが定期的イベント食などを開催し楽しんでいただいている。準備は職員が行い食器洗いなどはご利用者様と一緒にこなっている。	食事は宅配業者の弁当で、ご飯とみそ汁は職員が作っている。バーベキューやクリスマス、敬老の日、誕生会などの行事食は、職員と利用者が計画を立てて、食材の調達、調理をしている。利用者からの希望でそばを打ったり、地域の方から頂いた梅で梅ジュースを作ったり、半年に1回ほどは寿司の出前をとったりして、食事が楽しめるように支援している。出来る利用者は下膳、食器洗い、食器拭きを自主的にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人に合わせたご飯の量や状態にしております。水分量も個人記録を見ながら少ない方へはこまめに声掛けし対応しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人の状態に合わせご自分でできる部分は行っていただき、介助が必要な方に関しては職員が介助しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを確認しご利用者様に応じて声掛け誘導をおこなっております。	排泄パターンを把握して誘導し、トイレでの排泄を支援している。便秘の方には、薬を使わずに乳製品やみそ汁の具材に気を配り排便を促している。14名中5名が自立で他の方はパットやリハビリパンツを使用している。夜間オムツを使用する方もいる。トイレは各階2箇所1箇所は車椅子対応である。表示は大きくわかりやすくなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行、一定の水分量の確保を行っております。個人によりヨーグルトや牛乳を提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は設定しているが本人のその日の様子に合わせ変更する場合もある。午前の入浴時間を5午後に変更ししご本人様はいつでもいいと思って頂けるよう声掛けを工夫し対応しています。	週2回、入浴時間は15分を基本としているが、できる限り利用者、家族の要望に対応している。同性介助を基本として、入浴したがりない方には声かけを工夫したり、入浴時間や担当者を変えて対応している。足浴やシャワー浴で対応することもある。毎週火曜日には、玄関の横で湯河原から温泉を運んで足浴を楽しんでいる。ゆず湯や菖蒲湯など入浴を楽しめるような工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	休みたいと希望があった際は宿 泊スペースを使い休んでいただ いております。また一人で休み たと希望があった際は宿泊室を 使い対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	個人ファイルを確認し時間によ り服薬介助をおこなっておりま す。薬が変更になった際は様子 を記録に残しご家族様にも様子 をお伝えしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	掃除やベットメイキングや洗濯 物たたみなどご利用者様の負担 にならないよう手伝っていただ いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している	施設の外にでる機会は少ないで すが外にゴミを出しに行く際や 洗濯物を干す際などに外に行く 機会を設けております。送迎の 際なども車に乗れる時がある際 は帰りのルートを変更しいつもと 違う風景などを見ていただいま す。	レクリエーションのスケジュール に散歩を組み込んで、近くの梨 畑などを散歩している。利用者 が洗濯物を干したり、ゴミを捨 てるために外に出る事もある。 送迎ルートを変更してドライブを 楽しむこともある。玄関前に出 て日光浴をしたり電車の通過を 見る事もある。泊まりの利用者 は庭先で花火を楽しむこともあ る。行事食の時には利用者は職 員と一緒に近くのスーパーに買 い物に出掛けしている。車椅子 の方も職員が対応している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	ご利用様本人より購入希望があ った際などはご家族様に確認し 施設の立替金にて対応しており ます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家に帰りたいという訴えがあった時や用事があったときには、家族了解の下、電話ができるように支援を行なっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用様が快適に過ごせるようテーブルの位置やソファの位置などをご利用様に聞き反映しております。季節の飾りなども共同で作成し飾っております。	リビングは明るく、加湿器が設置してある。換気には十分注意して毎朝窓を開けている。玄関には、生花とクリスマスツリーが飾られて季節感を演出している。1階の和室を日中は通いの利用者の休憩室としてソファなどを設置し、ゆったりできるスペースを確保している。リビングのテーブルの配置は利用者間の関係を考慮して配置している。清掃は夜間の職員と遅番の社員が対応している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の部屋にソファを設置し一人に慣れる空間を提供しています。また利用日に応じて気の合う利用者様同士の食席を変更しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた、枕やクッションを持ってきていただき自宅に近い感覚で過ごしてもらえよう、配慮を行っています。	泊まりの部屋は1階に和室2室と、2階に洋室7室がある。エアコン、ベッド、カーテン、照明、3段ラックが備えられている。布団も用意されており、泊まりの利用者は身の回りの日用品やぬいぐるみ、クッションなど馴染みなものを持ち込んでいる。転倒防止のためフットセンサーや離床センサーを使用する方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その人の力量に合わせて、家事の継続を行っています現在では洗濯物干しやたたむ事などを手伝っていただいています。		

目標達成計画

事業所名 花緑のほりこ

作成日 H29.6.11

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	民生委員との連携が弱い。	民生委員との関係作りを強化する。	民生委員の方に施設を知っていただく為に行事、相談、運営推進会議等の参加を働きかける。	6ヶ月
2	18	外出支援は行っているが遠くに行くという事が出来ていない。	外出レクリエーションの実施を図る。	3ヶ月に1度位外出支援レクリエーションを設定する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。